

科目名	食事療法論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	三 隅 幸 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	管理栄養士の知識として、食事や栄養素が、疾病の発症や治療へどのように関与しているのかについて理解することは重要である。本講義は、各病態に応じた栄養素摂取量の決定や、食事のポイントおよび栄養食事指導に応用するための技術を養うことができることを目標として展開していく。						
授業の 到達目標	1) 食事療法について関心や興味を持つ。 2) 代表的な病態の概要について理解する。 3) 各病態と食事・栄養素の関係を説明できる。 4) 各病態に対する適切な食事療法を説明できる。 5) 各病態に応じた栄養素摂取量を決定できる。 6) 各病態に応じた食事療法についてディスカッションできる。 7) 糖尿病・腎臓病食品交換表の使用方法について理解できる。 8) 糖尿病・腎臓病食品交換表を実際に使用することができる。 9) 各病態に応じた栄養ケア計画を立案できる。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	栄養食事療法の実習、糖尿病食品交換表、腎臓病食品交換表						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	○				40	
小テスト等	○	○				60	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○				
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション、消化器疾患 (消化性潰瘍) の食事療法						
第 2 週	消化器疾患 (下痢・便秘) の食事療法						
第 3 週	消化器疾患 (炎症性腸疾患) の食事療法						
第 4 週	消化器疾患 (肝疾患) の食事療法						
第 5 週	消化器疾患 (胆・膵疾患) の食事療法						
第 6 週	代謝疾患 (肥満・高尿酸血症) の食事療法						
第 7 週	小テスト①、代謝疾患 (糖尿病) の食事療法						
第 8 週	代謝疾患 (糖尿病) の食事療法と糖尿病食品交換表について						
第 9 週	代謝疾患 (糖尿病) の食事療法と糖尿病食品交換表の活用方法						
第 10 週	小テスト②、代謝疾患 (脂質異常症) の食事療法						
第 11 週	循環器疾患の食事療法						
第 12 週	腎疾患 (慢性腎臓病) の食事療法						
第 13 週	腎疾患 (慢性腎臓病) の食事療法と腎臓病食品交換表について						
第 14 週	小テスト③、貧血の食事療法						
第 15 週	摂食・嚥下障害の食事療法、経腸栄養						
第 16 週	試験						
備考	1. 事前に、授業で予定しているテキストの該当箇所を熟読のこと。 2. 授業後、テキストの重要箇所にアンダーラインや書き込みを加え、授業内容と併せてノートに整理する。 3. 小テストで間違えた箇所は、復習し直しておくこと。						